

即ち世界經濟恐慌開始期の一九二九年に比較して、昨一九三三年は、輸出入共約其の三分の一に低下せるを見る。これを見て見るもプロック經濟、排外的國家主義經濟政策は、明に世界資本主義崩壊前後のアカギであるといふ事が出来る。

而して各國は其の苦悶の切抜策彌縫策として、國産品使用の強制、物價騰貴政策、軍需インフレ、匡救資金の放出等により國内産業の繁榮を企圖せるも、かゝる姑息的手段によつて資本主義機構の奥深く内蔵する缺陷が除去せらるるものに非ず、國內需要消費の中心をなす失業者数は多く減少を見ず、購買力の源泉をなす貨銀亦低下の一路を進むに及んで、資本主義經濟は萎微衰頽し、其の破綻の益々加重せるを見る。

茲に於て世界の資本主義諸國は、目前に迫る没落を回避すべく其の必死的活路を二つの方向に求むるに至つた。一つは資本主義の便衣隊ファッショ運動の横行であり、一つは資本主義の是正なる統制經濟運動是れである。

今之を實際に見る。獨逸ナチスの影響を受け、ファッショ的風潮の濃厚になりつゝあつた埃太利に於て、ドルフス内閣は遂に本年二月其の反動獨裁政策を露骨に曝露し、普通選舉を停止し、労働者の團結權及罷業權を剝奪し、社會民主黨並に労働組合に向つて極端なる彈壓を加へ來つたので、遂に其の暴虐を默視するを得ず、二月十二日首都ワインを中心に反動ドルフス内閣反對の大暴動が興起し、奮戦の後捕縛せられるもの二千名、社會民主黨及労働組合の幹部は或は捕縛、或は國外亡命のやむなきに至り、遂に政府は社會民主黨及び労働組合に對し解散を命じ、武力を以て之を潰滅せしむるに至つた。是れ實に埃國に於ける組織を有する無産階級が、反動ファッショの暴壓に對し、血と生命を捧げて其の陣營を守らんとしたる尊き犠牲であつた。

又フランスの安定、失業者の僅少を以て世界に誇れる佛國も、一昨年以來恐慌の嵐は遂に國內を席捲し、政府の財政は赤字につぐに赤字を以てし、遂に急進社會黨内閣は赤字補填の犠牲を官吏の減俸と所得税の増税に求め、痛く民衆の不滿と反感を買ひつゝあつたが、時恰もバイヨンス疑獄事件の突發と共に、民衆の政府に對する公憤はその頂點に達し、遂に到る處暴動を見たるが、本年二月六日の王黨、ファッショ派、共產黨三派の煽動による大暴動の如きは、二十世紀最大の暴動なりと言はるるに至つた。其の結果急進社會黨内閣は倒れて、事實上反社會主義舉國一致の反動スーメルグ内閣が生れ、之に反對して佛の労働總同盟(C.G.T.)は、二月十二日二十四時間のゼネストを決定し、其の後、復辟の王黨、獨裁のナチス、革赤色命の共產黨等の横行陰謀あり、前途多難である。

隣國獨逸はナチス突撃隊叛亂異變等あり、國際外交の難關、國內經濟の悪化と共に幾多の危機を藏しつゝも、無理押しにヒトラーの獨裁權を強行しつゝあり、又デモクラシーの堅壘英國に於ても、モツレー一派の英國ファシスト同盟生れ、佛の社會黨も又昨冬ルノーデル一派の分裂あつて、今や歐洲の天地は資本主義末期のファッショ反動の嵐が吹き荒みつゝある。

西歐のファッショに對し、自由主義の傳統を誇りつゝあつたアメリカは、昨年六月激増に苦しみつゝある失業群と恐慌を克服のためルーズベルト大統領の獨裁的權能による産業復興法の實施によつて、國家の産業労働統制に其の第一歩を踏み出すに至つた。其の實施以來、資本家側の御用組合の急造、自主的労働組合の拒否を中心に自動車工業、波止場入夫、紡織産業等大小無數の労働爭議の勃發を見、前途幾多の難關が豫想せらるるが、公正法典の採用が一九五産業に及び、其の推定労働者数は二千四百萬中一千八百萬人に達すと云はれ、アメリカの將來は世界の統制經濟運動の一つの試金石と見ることが出来る。

又一方ロシアは社會主義全體統制經濟による第二次五ヶ年計劃が着々進行しつゝあり、英國に於ける農産物販賣統制機關